

九州における延べ宿泊者数

九州への入国外国人客数

過去レポートアーカイブ

九州における延べ宿泊者数

～ 2025年12月分第2次速報値 ～

九州における2025年12月の延べ宿泊者数は533万人泊、国内延べ宿泊者数は410万人泊、外国人延べ宿泊者数は124万人泊。2025年の延べ宿泊者数は6,258万人、国内延べ宿泊者数は4,942万人泊、外国人延べ宿泊者数は1,315万人。

● 国内客・外国人客の延べ宿泊者数（県別）

2025年11月の九州の延べ宿泊者数は5,330,300人泊で前年同月比98.0%、コロナ前の2019年同月比では116.8%となった。このうち、国内客の延べ宿泊者数は4,095,240人泊で前年同月比97.0%、2019年同月比103.4%となった。外国人の延べ宿泊者数は1,235,060人泊で前年同月比101.3%、2019年同月比204.9%となった。

2025年1年間の九州における延べ宿泊者数は62,575,020人泊で、対前年比100.4%となった。内訳を見ると、国内延べ宿泊者数49,424,430人泊で前年比98.5%、外国人延べ宿泊者数13,150,590人泊で前年比108.4%となった。

全国の2025年1年間の国内延べ宿泊者数は475,609,020人泊で対前年比96.2%、外国人延べ宿泊者数は177,867,940人泊で対前年比108.1%であり、全国とほぼ同様の動きとなった。

国内客・外国人客の延べ宿泊者数（県別）

表 グラフ 折れ線グラフ

Table with columns for year (2014-2025), month (1-12), and total number of stays. Includes a legend for '確定値' (Confirmed) and '速報値' (Estimated).

Table with columns for year (2014-2025), month (1-11), and percentage change from the previous month.

● 外国人宿泊者比率（県別）

2025年11月の九州の外国人宿泊者数比率は九州全体で23.2%となり、全国平均の28.9%を下回った。県別に見ると、福岡県が36.8%と最も高く、次いで熊本県21.7%、大分県20.7%となった。一方、佐賀県11.9%、長崎県10.7%、鹿児島県10.3%、宮崎県7.5%と、九州の多くの県では外国人宿泊者数比率が1割前後となっている。

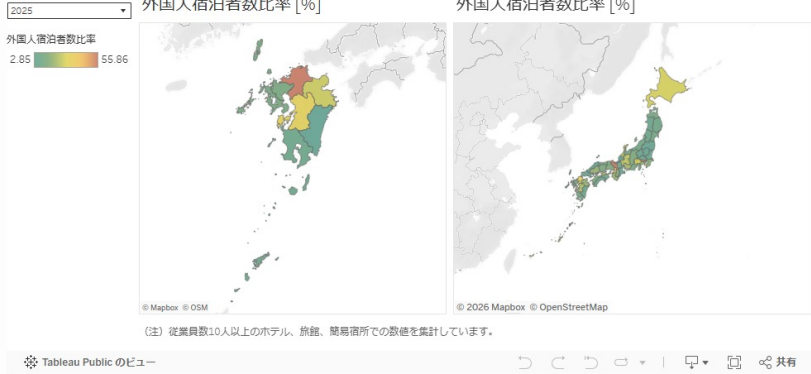
2025年年間では、九州全体の外国人宿泊者数比率は21.0%であった。県別では、福岡県32.7%、熊本県21.3%、大分県18.3%、佐賀県10.8%、長崎県10.3%、鹿児島県8.4%、宮崎県6.8%となった。

なお、全国平均は27.2%であり、九州では福岡県のみが全国平均を上回る結果となった。

外国人宿泊者比率（県別）

外国人宿泊者比率 ヒートマップ（日本） ヒートマップ（九州）

Table showing the percentage of foreign tourists by prefecture from 2014 to 2025.



※スクロールして確認して下さい。 ※観光庁「宿泊旅行統計調査」第2表より一般社団法人九州観光機構にて集計。 ※九州全体の数値は九州7県の合計となります。 ※全国の数値は47都道府県の合計となります。 ※年合計の数値は各月の合計となります。 ※九州観光データサイトでは、延べ宿泊者数的人数を「宿泊旅行統計調査」第2表から集計しています。 ※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数を集計していたため、数値が異なります。

● 外国人延べ宿泊者数（県別、国・地域別） ※従業員数10人以上の施設

従業員10人以上の施設における2025年12月の外国人延べ宿泊者数を見ると、韓国が421,680人泊（シェア38.3%）と最も多く、次いで台湾218,680人泊（同19.9%）、香港108,200人泊（同9.8%）、中国91,080人泊（同8.3%）となった。

国別で見ると、中国は2024年12月以降は10万人以上で推移しているが、2025年12月は91,080人泊となり、10万人を下回ったのは2024年11月以来13か月ぶりとなった。背景として、11月中旬に中国政府より日本への渡航に関する注意喚起が出されたことを受け、航空便の減便や欠航が発生したことが影響したとみられる。さらに12月22日には福岡—上海線（航空会社3社）および福岡—大連線（航空会社1社）が運休となった。

2025年間の外国人延べ宿泊者数における主要市場の構成比は、韓国36.7%、台湾19.9%、中国13.7%、香港9.2%となり、これら4市場で全体の79.4%を占めた。

外国人延べ宿泊者数（県別、国・地域別）

表 グラフ

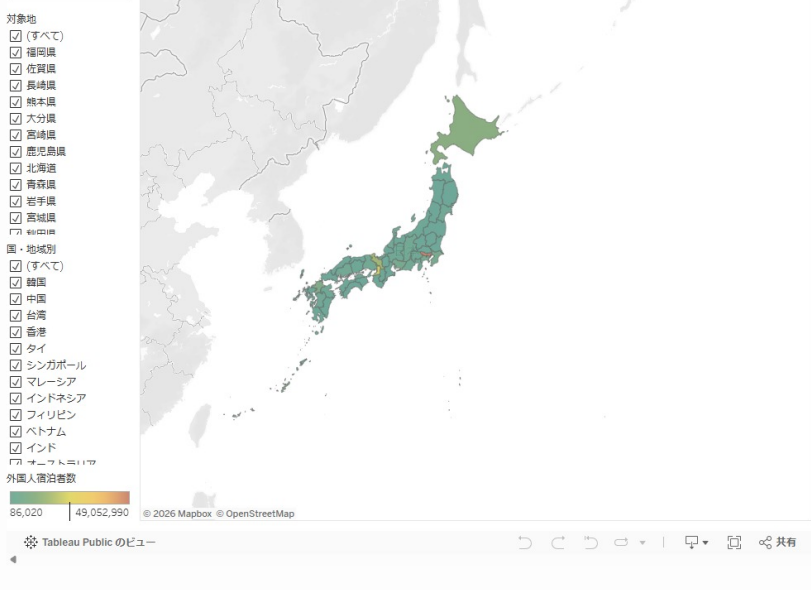
Table with columns for year (2014-2025), month (1-12), and total number of stays by country/region.

Table with columns for year (2014-2025), month (1-12), and percentage change from the previous month by country/region.

● 外国人延べ宿泊者数（県別 / 国・地域別） ※従業員数10人以上の施設

外国人延べ宿泊者数（県別、国・地域別）

ヒートマップ（日本） ヒートマップ（九州） パルマップ（世界）



※スクロールして確認してください。 ※観光庁「宿泊旅行統計調査」参考第1表より一般社団法人九州観光機構にて集計。 ※各県の数値は、国・地域別の数値の合計となります。 ※九州全体の数値は九州7県の合計となります。 ※全国の数値は47都道府県の合計となります。 ※統計の数値は各月の合計となります。 上記のたぬ観光庁宿泊旅行統計(参考第1表)外国人延べ宿泊者数数値とは異なります。 ※従業員数10人以上の施設

● 施設所在地別、国内客居住地別・外国人の延べ宿泊者数 ※従業員数100人以上の施設

従業員100人以上の施設では、2025年の国内客の延べ宿泊者数の50.6%が九州地方居住者となった。次いで関東地方で23.4%、近畿地方で9.8%、中国地方5.5%、中部地方5.0%となった。

施設所在地別、国内客居住地別・外国人客の延べ宿泊者数

表 グラフ

Table with columns for year (2014-2025), month (1-12), and total number of stays by location and residence.

Table with columns for year (2014-2025), month (1-12), and percentage change from the previous month by location and residence.

※観光庁「宿泊旅行統計調査」第2次速報値参考第2表より作成。（従業員数100人以上の施設） ここでの地方は下記の区分となります。 北海道地方：北海道 東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県 北陸信越：新潟県、富山県、石川県、長野県 中部地方：福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 近畿地方：和歌山県、奈良県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国地方：鳥取県、倉敷県、岡山県、広島県、山口県 四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県 九州地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、高知県、鹿児島県 沖縄地方：沖縄県